



＝ 発行 ＝
 秋田県生涯学習センター
 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1
 TEL : 018-865-1171
 FAX : 018-824-1799
 E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp
 編集 : 社会教育アドバイザー

当生涯学習センター界隈の街路樹の緑も一層色濃くなりました。

6月23日から29日までの1週間は、国の男女共同参画推進本部が提唱する「男女共同参画週間」です。同時に、6月は、「秋田県男女共同参画推進月間」です。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、性別に関係なく、あらゆる場で協力し、認め合い、活躍できる環境をつくるのが大切です。

この機会に、様々な取組をとおして、考えてみませんか。

平成26年度男女共同参画週間キャッチフレーズ

「家事場のパパヂカラ」

(山口県 野田学園 平成25年度4年C組の皆さんの作品)



「美の国アクティブカレッジ」の地域キャンパスの一つである能代キャンパスの開講式及び第1回講座が5月24日に能代市中央公民館で開催されました。

開講式では、「美の国アクティブカレッジ」副学長の当生涯学習センター夏目由美子所長に続き、能代市教育委員会教育部生涯学習・スポーツ振興課の村岡明正課長からあいさつをいただきました。

午前中は、秋田近代史研究会会員の菊池保男氏が、「能代・山本を訪れた巡見使*1」と題して講義されました。午後からは、北羽新報社常務取締役編集長の八代保氏が、「気付けばまっぺ*2～方言を見直そう・楽しもう～」と題して講義されました。

両講座とも地元の能代・山本地区のみならず、大館・秋田方面からも受講者が参加し、笑いあり、質問ありの学びを深めた講座となりました。

*1 巡見使…江戸時代、将軍の代替わりごとに、大名領や天領の政情や民情査察のために派遣

*2 まっぺ(方言)…まぶしい、まばゆいの意



「美の国アクティブカレッジ」
能代キャンパス開講式



講師の秋田近代史研究会
会員の菊池保男氏



講師の北羽新報社
常務取締役編集長の八代保氏

行動人

ウェブサイトで紹介した行動人総数

35,000人 (6月18日現在)

秋田の元気を発信

行動人紹介ウェブサイト

<http://lifelong.akita-kenmin.jp/koudoubito/>

行動人

検索

美の国アクティブカレッジ



直木賞作家 渡辺喜恵子『タンタラスの虹』

「風の松原」の歴史的なこと

「美の国アクティブカレッジ」能代キャンパスの第2回講座が6月21日に能代市中央公民館で開催されました。

午前は、北条常久シニアコーディネーターが、能代ゆかりの直木賞作家、渡辺喜恵子（秋田県立能代高等女学校〔後の県立能代北高等学校〕卒業）の作品「タンタラスの虹」を取り上げ、渡辺文学の魅力を語りました。作品の多くは、底辺の女性の生き方に焦点を当てており、今回も「写真花嫁」や嫁姑の確執に生きる女性などを通し、渡辺文学を理解する良い機会となりました。

午後は、「風の松原ガイドの会」会長の渡辺進氏が、『「風の松原」の歴史的なこと』と題して、講義されました。

日本の五大松原の一つである「風の松原」の歴史をひもとかれしました。江戸時代に植栽された黒松の消滅や松食い虫の進入などを学ぶにつれ、「風の松原」を守り、次世代へ残すための行動を起こす重要性を再確認させられました。



講師の北条常久シニア
コーディネーター



講師の「風の松原ガイド
の会」会長の渡辺進氏

玄関ホール展示

県生涯学習センター玄関ホールの展示を紹介します。

6月10日から6月29日までの期間、当生涯学習センター玄関ホールで、柏谷静子さん（秋田市在住）による100点を超える「パッチワーク展」を開催しております。

柏谷さんは、30年位前、手芸店でタペストリーを何度か見かけ、自分でも制作したいと思うようになりました。図書館での独習や2年間ほど手ほどきを受けたのちは、自分一人でゆっくり時間をかけて取り組んでこられたそうです。

生命を与えてくれる「花の絵柄」、とりわけ、「バラの絵柄」が好きだそうです。古着を再利用したり、知人からいただいたりして、手縫いによる実用的な作品を制作する日々のことでした。また、趣味のパッチワークだけではなく、ボランティア活動にも励んでおられます。



作品とともに
柏谷静子さん

